

## 平成29年度 学校経営計画及び学校評価

## 1 めざす学校像

多様な生徒へ多様な教育活動を展開し、教員と生徒・保護者との信頼関係を深め、中退率の減少を図り、地域から信頼される学校となることをめざす

## 1 めざす生徒像

- 自尊感情を高め、夢や進路の実現に向け前向きに努力する生徒
  - 集団生活の中で、自他ともに敬い愛し尊敬しあう生徒
  - 確かな学力と社会性を身に付けた、責任を持った行動のできる生徒
- 2 地域に根差した学校として、地域と密に連携し、その教育力の活用を図りまた地域への積極的な情報発信や貢献を行う。
- 3 全日制総合学科として、専門性を深める教育を展開し、専門教員による授業内容の向上や指導態勢の充実を図る。  
また、厳しく教え優しく育てる生徒指導を行う。

## 2 中期的目標

## 1 確かな学力の育成

- (1) 総合学科のカリキュラムを見据え、基礎基本から応用にいたるまで、多様な学習ニーズに即した授業の充実を図る。
- ア 基礎学力の向上を図るとともに、総合学科として多様な選択科目をより充実させ、系列ごとに系統だった学習の確保を行う。
  - イ 授業見学や研究授業および授業評価による、授業改善に重点を置く。
  - ウ 積極的に体験的な学習やICTを活用した授業展開を導入するとともに、基礎基本を重視した確かな学力を育成する。
- ※ 出席率を高め90%とする。  
※ 授業アンケート“先生の声や話し方は聞き取りやすく、わかりやすい”への肯定的な回答率を90%とする。
- (2) 募集停止による減学級に対応した学校運営体制で臨む。

## 2 生徒理解の促進と、生徒が主役の学校づくり

地域交流を図りながら、地域に根差した学校として地元から愛される咲洲高校をめざす。

- (1) 行事・部活動・地域活動により魅力ある学校づくりを実践する。
- ア 学校行事の内容を検討し、全生徒の積極的な参加をめざす。
  - イ 部活動や生徒会活動等を通じて地元地域との連携を行う。
  - ウ 清掃活動を中心とした地域への奉仕活動も積極的に導入する。
  - エ “クリーングリーン咲洲”を合言葉に 校内美化に努める。
  - オ 生徒・地域・教員が互いに挨拶をする環境づくりに努める。
  - カ 商業系列での珠算・簿記、全生徒への漢検受験奨励等、資格取得の積極的な推奨を行う。
- ※ 行事参加率を90%へ  
※ 部活動入部率を30%へ  
※ 学校教育自己診断アンケートの“学校へ行くのが楽しい”への肯定的な回答率を70%へ
- (2) 生徒理解と支援の徹底
- ”厳しさと優しさ”を持った生徒指導の徹底。生徒にとって安全で安心な居場所を提供し、全教職員で生徒の成長のための支援を行う。
- ア 「なにかあれば、家庭訪問」を合言葉に、子どもの生活背景を踏まえたうえでの教育を実施する。家庭訪問及び授業参観・個人懇談を活用し、保護者との意思疎通を徹底する。
  - イ 中学校との連携を密にとり、中学校への支援も依頼しながら生徒育成にあたる。
  - ウ 保健相談部を中心とし、配慮の必要な生徒の情報を全職員で共有し、全員が一丸となって適切な支援を行う。
  - エ スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーを活用し、外部機関との連携を視野に入れた支援を行う。
  - オ 職員研修を積極的に実施し、教師のスキルアップを図る。
  - カ 人権教育の充実を図り、人権学習を計画的に実施する。
- ※在校生全員の卒業をめざす。  
※学校教育自己診断アンケートの“先生はよく声をかけてくれる”への肯定的な回答率を90%へ

## 3 夢と志を持つ生徒の育成

- (1) 計画的にキャリア教育を実施し、生徒一人ひとりの夢の実現に向け指導する。
- (2) 総合的な学習の時間及びLHRを活用し、真の社会人として活躍できる生徒の育成と、生徒全員の進路希望の実現をめざす。
- (3) 生徒の規範意識の醸成
- ※ 卒業時の進路先決定率100%をめざす。
  - ※ 遅刻者の大幅減少・頭髪指導・制服指導の徹底
  - ※ SHRを効果的に活用する。

## 【学校教育自己診断の結果と分析・学校協議会からの意見】

学校教育自己診断の結果と分析	学校協議会からの意見
<p><b>【学習指導等】</b> ( ) 内はH28年度(2年時)</p> <p>教職員アンケートでは、ほぼ全員が教材の精選や工夫、指導方法の工夫と改善に積極的に取り組んでいる。その結果、生徒アンケートでは、「授業では実験・観察・実習・作業などの時間がたくさんある」との肯定的な回答が68%(68%)となっており、併せて「授業がわかりやすい」74%(73%)、「教え方を工夫している先生が多い」79%(79%)と高い数値となっている。保護者アンケートにおいても、「子どもは授業がわかりやすく楽しいと言っている」の肯定的な回答が68%(46%)と大きく向上した。</p> <p><b>【生徒指導等】</b></p> <p>「先生はよく声をかけてくれる」81%(82%)、「先生は生徒の話をよく聞いてくれる」81%(80%)、「さまざまな悩みや相談に親身になってくれる先生が多い」71%(71%)等教師の生徒への見守り姿勢の項目に対する肯定的な意見も高く、また、「学校生活についての先生の指導には納得できる」74%(76%)となっており教師と生徒の関係が概ね良好であることが伺える。保護者アンケートにおいても、「保護者の相談に適切に応じてくれる」89%(96%)、「先生は子どもたちについてよく理解している」82%(87%)、「学校の生徒指導の方針に共感できる」71%(71%)となっており学校の生徒指導方針に概ね理解をいただいている。</p> <p><b>【学校運営等】</b></p> <p>教職員アンケートでは、「教職員間の相互理解がなされ、信頼関係に基づいて教育活動が行われている」90%(83%)、「教育活動における問題意識や悩みについて気軽に相談し合える」100%(83%)、保護者アンケートでは、「家庭への連絡や意思疎通をきめ細やかに行っている」86%(82%)、「子どもの指導に関し保護者とよく連携している」78%(65%)、「将来の進路や職業などについて適切な指導を行っている」100%(78%)等の評価は前年度を大幅に向上した。</p>	<p>第1回(6/2)学校経営計画の策定について</p> <p>本校として「どのような生徒を育てたいのか」という基本的な考え方は変わらない。今年度は3年生のみの1学年となったので、現状に合わなくなった部分の削除や文言修正をした。また目標達成のためにどのようなことをするのか昨年度末の結果を参考に達成目標や回数等ができる限り具体的な数字を示すようにした。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漢検や珠算電卓検定等の資格試験は、合格することにより本人の自信になるので奨励すべき。</li> <li>・今年度の3年生は、これまででいただいていた就職後のフォローがしてもらえないので、その対応策も検討しておいていただきたい。</li> </ul> <p>第2回(10/6)学校経営計画の進捗状況について</p> <p>3年生のみの1学年なので、全教職員が協力して生徒に寄り添いながら細やかで丁寧な進路指導や教科指導に取り組み生徒の自主性を育むサポートを行っている。学校行事等では、規模縮小を前向きに捉え少ない人数だからこそできる内容を考え工夫しながら実施している。また、部活動では厳しい環境の中「南東北インターハイ」にボクシング部の生徒が出場、「2017みやぎ総文」に美術部生徒の作品が大阪府代表として選出されるなど活躍する生徒が出ている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部活動や新しい学校行事等への取組みで生徒たちが貴重な体験ができたことは素晴らしく、その経験が進路や今後の人生に必ず役立つものになると思う。</li> <li>・閉校まで限られた日数ではあるが、今後も生徒が地域で子どもから高齢者まで交流できるような行事等に取り組まれることを期待する。</li> </ul> <p>第3回(2/9)平成29年度学校評価について</p> <p>今回が本校最後の学校協議会となるので、これまでの咲洲高校15年間の取組みの最終結果としての報告になる。現在、学校はたいへん落ち着いた状況で前向きにきめ細やかな生徒対応ができており成果も出ているので今年度限りで閉校になるのは誠に残念。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各教科が授業でICTを活用したり、アクティブラーニングに積極的に取り組まれたことは高く評価できる。</li> <li>・数年前までは後追いの課題対応としての事後指導が多く割合を占めていたが、近年はどうすればより生徒の能力を伸ばしステップアップさせられるのかというような前向きな指導ができるようになってきている。</li> </ul>

## 3 本年度の取組内容及び自己評価

中期的目標	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	評価指標	自己評価
1 確かな学力の育成	<p>生徒の授業への積極的な参加を促すとともに、「魅力ある授業づくり」を重点課題に据え、全員卒業をめざす。</p> <p>(1) 生徒の学ぶ意欲の涵養</p> <p>(2) 基礎基本の習得</p> <p>(3) 教員の授業力の向上</p> <p>(4) 体験学習や ICT 機器の活用</p>	<p>(1) 本校の特色である少人数展開授業を活用し、個のニーズにあった充実した授業を展開する。</p> <p>・H27年度から実施した三学期制、50分授業を有効活用し授業内容の充実を図る。</p> <p>・テストの成績だけでなく、出席や課題提出状況などを含めて評価していることを生徒に周知徹底する。</p> <p>(2) 全生徒に対して「基礎力診断テスト」を行い、個々に応じた学びなおしと個人の学習力を高める。</p> <p>・教科独自教材活用で基礎学力の向上をめざす。(ICTの活用やプリント学習等)</p> <p>(3) 年間2回の教員による授業見学や管理職による授業観察を行う。</p> <p>・年1回の教科毎の研究授業の実施</p> <p>・年2回の授業評価(生徒アンケート)を実施。1回目終了後改善計画を作成し2回目で検証を行う。</p> <p>(4) 実験実習を多く取り入れ、体験的学習の機会を多く持つ。</p> <p>・話せる英語・使える英語を重視した授業等生徒が主体的に取り組める授業を展開する。</p> <p>・タブレット型PCや大型モニターを使った学習を導入</p>	<p>※( )内はH28年度</p> <p>・3年生の100%(97%)が卒業</p> <p>・授業アンケート“先生の声や話し方は聞き取りやすくわかりやすい”への肯定的な回答率を90%(83%)に出席率を90%(85%)に</p> <p>(1) 各教科においてアクティブ・ラーニングを取り入れるなど授業内容の精選と改善を図る。</p> <p>(2) 生徒全員に漢字検定の受験を奨励する。</p> <p>・大学進学を視野に入れた講習の実施</p> <p>・遅進者対策の為に補習の実施</p> <p>(3) 教科ごとの年1回の研究授業の実施</p> <p>・年間一人2回以上の授業公開及び授業見学の実施</p> <p>・授業評価 1回目より2回目の改善(改善計画提出)</p> <p>(4) 各教科でICT機器を活用した授業の実施</p>	<p>( )内はH28年度末</p> <p>●卒業率(○)97%(97%)</p> <p>●授業アンケート(○)第1回肯定回答86%(83%)</p> <p>第2回肯定回答87%(83%)</p> <p>●出席率(△)81%(85%:3年)</p> <p>●全教科がアクティブ・ラーニングの取組み実施(○)</p> <p>●専門的な力(○)</p> <p>・電卓 1級1人</p> <p>2級2人</p> <p>・ビジネスマン 2級2人</p> <p>3級4人</p> <p>・珠算 準3級1人</p> <p>・情報処理 2級2人</p> <p>3級1人</p> <p>・全商簿記 2級5人</p> <p>●授業見学・研究授業全教科実施(○)</p> <p>●ほぼ全教科でICT機器や視聴覚教材活用(○)</p>
2 生徒理解の促進と、生徒が主役の学校づくり	<p>(1) 学校行事・部活動・生徒会活動・地域活動の活性化</p> <p>(2) 厳しく教え、優しく育てる生徒指導</p> <p>(3) 生徒の実態把握と支援</p>	<p>(1) 「魅力ある学校づくり」の一環として、行事・部活動・地域連携・生徒会活動の推進に積極的に取り組む。</p> <p>・全校集会を通じて咲洲高校生としての自覚を促す。</p> <p>・行事への積極的参加を奨励するとともに卒業アルバム作製等を通じて仲間作りや愛校心を芽生えさせ、魅力ある学校として認識させていく。</p> <p>・生徒会役員が中心となる学校行事の実施</p> <p>・行事への参加率を高める。</p> <p>・部活動加入率の向上をめざす。</p> <p>・地域行事への積極的参加</p> <p>・近隣幼稚園・保育所等との連携及び地域住民との交流を図る。</p> <p>・学校協議会における「地域連携に対する学校の取組み」関連評価の向上をめざす。</p> <p>・ホームページや咲洲メールマガジン等を通じて情報発信を行う。</p> <p>(2) 生徒を理解し、守り、育むために</p> <p>ー中退防止の為に指針の実施ー</p> <p>・“何かあれば家庭訪問”を推進する。</p> <p>・学期ごとの個人懇談を活用し、全員の保護者との意思疎通を徹底する。</p> <p>・中学校との連携を密にとり、中学校からの支援も依頼しながら生徒の育成にあたる。特に退学しそうな生徒に対しては中学校・保護者と連携し支援にあたる。</p> <p>・生徒相談体制の充実</p> <p>・相談室の活用と相談機会の提供。</p> <p>・全教職員の情報共有と連携を図る。</p> <p>・支援委員会を中心とするケース会議を実施し、場合によってはSCやSSWの参加も要請する。</p> <p>・生徒指導部と保健相談部が連携し、心のケアを必要とする生徒へのサポートを強化する。</p> <p>(3) 生徒支援の充実</p> <p>・支援委員会を活用し必要な生徒へは学校を挙げて支援する。</p> <p>・「高校生活支援カード」の積極的活用</p> <p>・ニーズに応じた職員研修の実施</p> <p>・策定した人権教育計画により、豊かな人権教育を推進</p>	<p>(1) 学校行事等の見直し</p> <p>・全校集会の有効活用</p> <p>・行事への参加率90%(86%)</p> <p>・部活動の加入率30%(29%)</p> <p>・地域行事へ年間2回以上の参加</p> <p>・校内施設を活用した公開講座等の地域交流事業を年間3回以上実施する。</p> <p>・交流事業の広報活動として、自治会掲示板の利用などの施策を講じる。</p> <p>・学校行事等を通じて、年間2回以上の地元幼稚園との連携及び地域住民との交流</p> <p>・学校の持つ人的資産を活用し地域の小学校へ出前授業等を実施する。</p> <p>・ホームページをタイムリーに更新し情報発信に努める。(年間100回以上の更新)</p> <p>・学年通信などの保護者向け文書を発行する。</p> <p>(2) 中退者数を0(ゼロ)にする。</p> <p>・保護者の理解を深める為の家庭訪問を推奨</p> <p>“何かあれば家庭訪問”</p> <p>・生活指導の徹底を図り、基本的な生活習慣を身につけさせる。</p> <p>・在校生の出身中学への訪問等、中学校との情報交換を必要に応じて実施する。</p> <p>・各学期に保護者懇談を実施するとともに、SC等の活用を図り相談の機会を提供する。</p> <p>・PTAと連携して保護者の学校行事等への積極的な参加協力を依頼し、本校教育活動について周知を図る。</p> <p>(3) 生徒支援の充実</p> <p>・必要に応じて支援委員会の開催</p> <p>・保健相談部と支援委員会が連携し「高校生活支援カード」を活用する。</p> <p>・支援教育を中心とする職員研修を年間5回実施</p> <p>・職員研修への参加率を85%(83%)以上</p> <p>・策定した人権計画に基づき、各学年で人権学習を実施し、生徒の人権意識の向上はアンケート等で確認する。</p>	<p>●行事参加率(◎)86%(86%)</p> <p>・春季遠足90%(90%)</p> <p>・秋季遠足96%</p> <p>・球技大会78%(84%)</p> <p>・芸術鑑賞77%(79%)</p> <p>・文化祭88%(90%)</p> <p>●部活動加入率(○)29%(29%)</p> <p>・全総文1人選出</p> <p>・全総体1人出場</p> <p>●地域交流(◎)</p> <p>・校庭のピクニック6/10</p> <p>・幼稚園交流事業としての文化祭6/16</p> <p>・ひまわり会6/17</p> <p>・花の町納涼祭7/29</p> <p>・公開講座(美術)10/15</p> <p>・家庭科授業で幼稚園と交流11/14・16</p> <p>・「大阪マラソン」ボランティア11/26</p> <p>●HP更新(◎)110回(138回)</p> <p>●学年通信5回(○)</p> <p>●中退者(◎)1人(12人)</p> <p>●家庭訪問(△)10回(44回)</p> <p>●懇談会等(○)</p> <p>●支援体制(○)</p> <p>・支援委員会考査毎</p> <p>・放課後等学習支援</p> <p>・支援カード活用</p> <p>・個別の支援計画作成</p> <p>・ケース会議等4回</p> <p>●職員研修(◎)開催4回(7回)</p> <p>参加率85%(83%)</p> <p>●計画通り人権学習とアンケートを実施(○)</p>
3 夢と志を持つ生徒の育成	<p>(1) 確かな進路保障</p> <p>(2) 規範意識の醸成</p> <p>(3) 挨拶・返事・清掃の徹底</p> <p>(4) インターンシップ活動の奨励</p> <p>(5) ボランティア・地域活動へ参加</p>	<p>(1) 学年を通じたキャリア教育を充実させ「夢咲く未来」の実現を図る。</p> <p>・卒業生全員の進路実現</p> <p>・積極的に外部人材の活用をしながら、総合やLHRの時間を活用し学年を通じたキャリア教育の推進を図る。</p> <p>(2) 生徒指導規律の徹底を図り、全体生指の発想での生徒指導体制で臨む。</p> <p>・全校集会やSHRを通じて生徒に指導や啓発を行う。</p> <p>・生徒指導室の効果的活用</p> <p>・遅刻生徒へは生徒指導室において入室許可証を発行する。</p> <p>・制服・頭髪等みだしなみ指導の徹底</p> <p>(3) 教員が模範となり、「だれでもいつでも挨拶する」ことの徹底</p> <p>・年2回の清掃活動等の奉仕活動の実施</p> <p>(4) 夏季学校外学修で行う各種企業等への体験学習を充実させる。</p> <p>(5) 生徒会を中心に各種ボランティア活動や地域行事へ積極的に参加する。</p>	<p>(1) 卒業生徒の進路先決定100%</p> <p>・就職対策としての徹底した面接指導</p> <p>・就職進学に向けた講習会等の実施</p> <p>(2) 遅刻者の大幅減少(年間総数を1,500件以下に)</p> <p>・学年集会を学期に1回実施し定期的な頭髪服装指導にあたる。</p> <p>(3) 毎日教員が正門で登校してくる生徒を迎える。</p> <p>・生徒会で挨拶運動の実施</p> <p>・清掃活動を年2回以上実施する。</p> <p>(4) インターンシップへの参加者を15名以上に(2年13名 3年6名)</p> <p>(5) HP、校内掲示等を通じ、ボランティア活動をこれまで以上に奨励・推進する。(年間2回以上のボランティア活動)</p>	<p>●進路決定状況(○)</p> <p>・学校斡旋就職22/22人(32/32人)</p> <p>・進学状況25/28人(33/33人)</p> <p>・公務員合格2人(1人)</p> <p>●懲戒件数(◎)2件3人(5件9人)</p> <p>●遅刻指導(○)1,579回(1,818回:3年)</p> <p>●生徒会が毎学期初めに挨拶運動実施(○)</p> <p>●インターンシップ(△)1人(19人)</p> <p>●応募前職場見学(◎)69社84人</p> <p>●ボランティア(○)</p> <p>・生徒全員で校外清掃</p> <p>・「大阪マラソン」ボランティアに4年連続で参加</p>